

夏の夜ばなし

市橋 直次郎

古賀入形... 切丹仲天連、阿彌陀佛、色彩も黒、赤の単純なものを...

龍元も、今では一軒きり... 龍元も、今では一軒きり、古賀人形とは産地の名を冠したもので、...

竹若葉

國玉 喜輝

竹若葉を透きさし来る六月の陽の明るきに手をかざし見ぬ... 竹若葉を透きさし来る六月の陽の明るきに手をかざし見ぬ...

磁石

松田いせ路

いよいよ電流を通じるとき... 磁石の力も強くなる、電磁石の力は強くなる、...

天気予報... 天候... 明日は北風の風... (Weather forecast section)

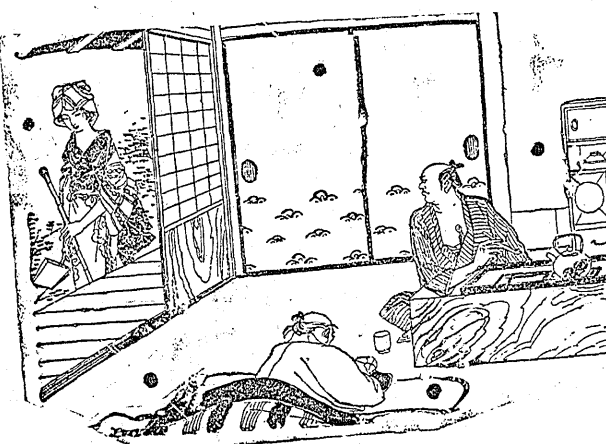
武田勇次郎... 田畑の雪が溶え始めると... 農家では田もなく苗代の畦を...

消息... 信州へ寫生に参りました... 今夏半で閉館する、個展の準備の爲めであり致す...

秋紅葉... さいらいのみのみのが涼しくて遠いなづま... 秋紅葉

聞夜雨有懐... 珠雲 小野勢平... 柴門無復客來敲... 惠縮依爐甘笑嘲...

隱密小天狗... 中川兩氏氏作... 近藤 鐵氏講... どうぞ、相違らずはつ...



龍吉の手を伸ばして、傍らに戸棚の上の湯呑を取つて、そして七瓶の茶を注いで、おぼろげに飲みながら、...

藤兵衛の不安心眼が、龍目明しの目に鋭く覗き込まれて、...

電話七四三番... 代理店係数名募集... 小口貯蓄保険の先驅... 同平事務所

松村電機商會... 電話番號 七六一番 二改メシタ... 御利用願ヒマス

各種工具類 現在庫品... 東京製中古旋盤... 八呎旋盤 六呎旋盤... 中古石油發動機...

井尻七三郎商店... 銅鐵 機械... 二大製鐵會社特約店... 海軍工廠御用達

大擴張社員招聘... 男女経験の有無、年齢問はず... 剛健にして奮闘の士優遇す...

野村生命保險會社... 電話七四三番... 平市田町

高久病院... 内科 小兒科... 外科 花柳病科... 耳鼻咽喉科

吸入用酸素... 開内藥局... 電話四〇〇番

鈴木醫院... 内科 小兒科... 電話四五二番

合大... 電話六六七番... 前野上東京 角横橋局便郵谷下

腸胃性病... 皮膚科... 院醫科性胃腸科総 (番七〇一電町南市平)

月曜論

天災地妖に關する流言蜚語は、近時科學の發達と共に著しく廣流布の機會を...

憎むべき人騒がせ! 湯の嶽異變を傳ふ

最近湯の嶽附近に頻々と不氣味な鳴動があり、之は近湯の嶽が噴火する前...

國民貯蓄組合

三業組合でも 國民貯蓄組合 三年後に七千圓 平三業組合でも國民貯蓄組合...

非常時を強調して 躍る無明の勇士

無明の世界に燃ゆる体育熱の如く一般の來應歡迎 警備隊の校内對抗戦...

大日本運動 講演會

大日本運動本部主催の講演會を來月四日午後七時半から...



ソ聯の横顔素描(五)

その至りに頭迄全部麻痺のたわしで洗入居りひたひたの三十分、間然...

空への關心 總動員

昨夜講演後 燈管實地指導 移し、各區とも住宅、商執行...

入山に凱歌(大會終る)

警備隊球大會(警備隊制隊主催) 警備隊球大會(警備隊制隊主催)...

安中軍來平

縣下大會に備へて警中、平商會は昨二十六日安中積中...

大貫所長二千圓献金

入山抗務所長大貫次氏は此程某方面に出動、一日にして歸休を命ぜられた...

公衆電話を利用し

不良三人擧げらる 遊興費に窮した不良三人の「こちらは商店の志賀だが...

列車から転落?

二十七日午前四時頃、平須川の沿線に年二十二、三才一見、女中風体の體格が発見...

入用

一、少年工場員 小學校卒業程度市内居住のもの、來談あり。

符と現金一圓三十八錢在中の袋口を所持 平須午後十時三十分、...

重田眼科 平須前通り 元貯蓄銀行跡 眼鏡一般 醫師 重田 景治

小瀧は招く 一日の清遊には... 西洋いもが雨登つてゐます...

皮膚科 泌尿器科 性病科 門専 江尻醫院 平須町

天井板、ベニヤ板買ふなら 刃鐵田材木商店 電話 四六〇番